

三上次男 みつぎみ 東洋史學・考古學者、文學博士。明治四十年（二月）二十一日京都府宮津生れ、昭和八十一年六月六日歿（一九〇七—七七）。號白水子。昭和七年東京帝國大學文學部東洋史學科卒。翌年外務省滿蒙文化研究室、十四年東方文化學院研究員。北東アジアの遺蹟調査に従事、のちエジプト、イランの陶磁を研究。二十四年東京大學教授、四十二年青山學院大學教授を歴任。四十九年「金史研究」により日本學士院恩賜賞受賞。中近東文化センター理事長。

著書に『ポペルシヤの陶器』（昭和二十六年十一月）中央公論美術出版）、『陶磁の道—東亞文明の接点をたずねて』（昭和四十四年八月）二十日岩波書店「岩波新書」）、隨筆集『春日抄』（昭和八十二年六月）二十日岩波書店「岩波新書」等。『阿波集—三上次男先生退任記念』（昭和五十二年一月）二十日阿波集発行世話人）がある。



春日抄 三上次男隨筆集

